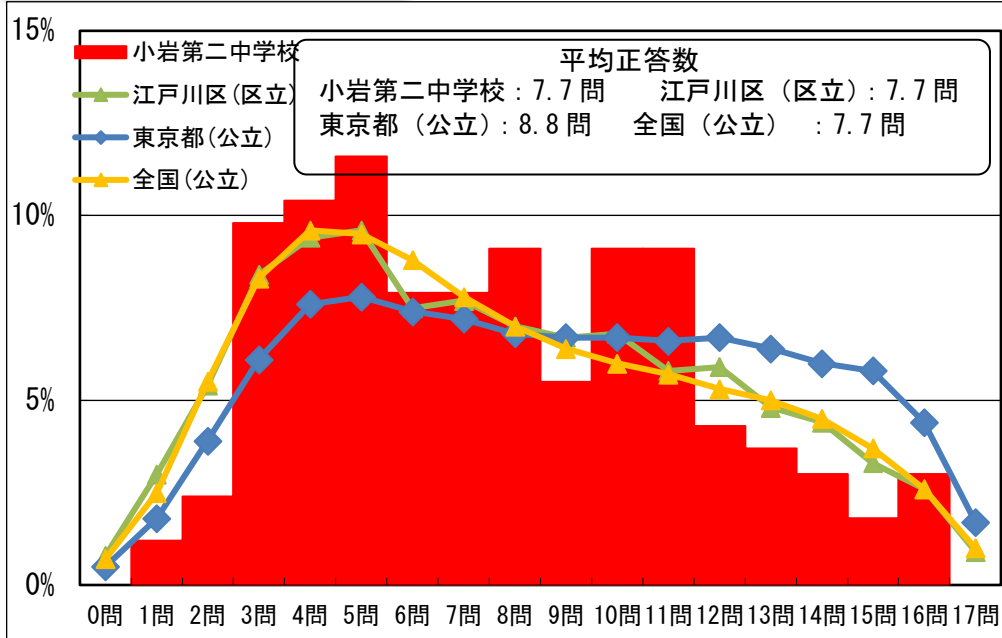


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【英語】 小岩第二中学校

## 正答数分布

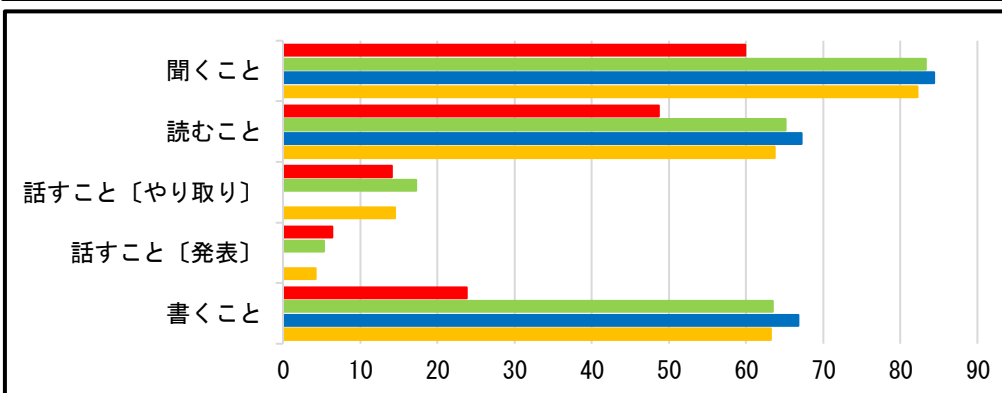
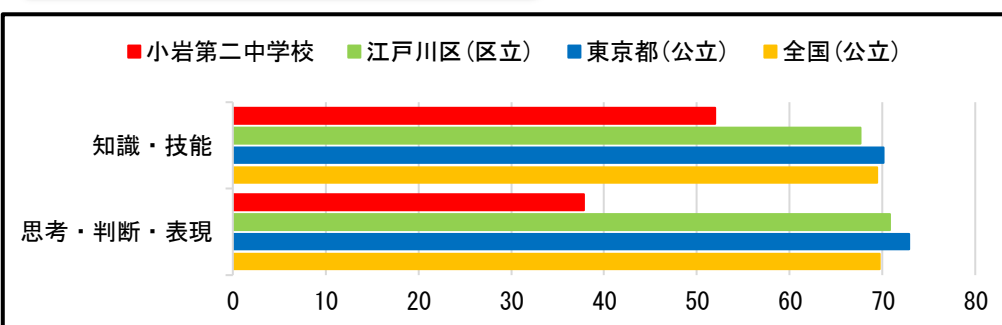


### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

英語	上位 ← → 下位			
	A層 12~17問	B層 9~11問	C層 5~8問	D層 0~4問
小岩第二中学校	15.8	23.7	36.5	23.8
江戸川区(区立)	21.9	19.3	31.8	27.0
東京都(公立)	31.0	20.0	29.2	19.8
全国(公立)	22.1	18.1	33.1	26.7

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

小岩第二中学校	45%
江戸川区(区立)	45%
東京都(公立)	52%
全国(公立)	45.6%
都との差	7ポイント

%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

平均正答率は江戸川区と全国の平均とほぼ同等であるが、東京都との差は7ポイントと大きい。英語の4技能においては、話すことが良い結果になっており、反対に書くことはとても苦手である。授業でペアワークの会話を取り入れていることは効果が見られる。今後は書くことについての小テストを実施するなど、指導の工夫を行っていく。